

平成23年度 公益財団法人よこはまユース 事業報告

【 総 括 】

平成23年度は、「財団法人 横浜市青少年育成協会」から「公益財団法人 よこはまユース」へと移行するとともに、事業活動収入の4割を占めていた横浜こども科学館の指定管理期間が平成22年度で終了したため、財政的にも組織体制的にも経営基盤を揺るがす厳しい状況の中で新年度を迎えました。そのため、法人の事業規模・組織体制を大幅に縮小・変更するさなかでのスタートとなりました。

また、平成23年度から第2期指定管理期間となった青少年3施設（横浜市青少年育成センター、横浜市青少年交流センター、横浜市野島青少年研修センター）については、当法人が指定管理者に指定されましたが、指定期間については、野島青少年研修センターは5年間（23～27年度）だったものの、青少年育成センターと青少年交流センターは、横浜市が『施設の在り方を検討』中のため、暫定的に2年間（23～24年度）の指定期間となり、中長期的な見通しを立てにくい状況になりました。

このような激変かつ厳しい経営環境のもと、「公益財団法人よこはまユース」は、未来を担う青少年の成長に寄与することをめざし、公益財団法人として歩みだしました。

1 「青少年活動を支援する事業」

「施設貸与」では、青少年3施設ともに稼働率向上に取り組みました。

野島青少年研修センターは、全館が4～12月の予定で東日本大震災の被災者避難所に指定されました。この期間内に利用予約が入っていた市内小学校の「宿泊体験プログラム」や、4～5月の利用予約をキャンセルのうえ、述べ797人の被災者を受け入れました。避難所の指定は7月末日で繰上げ解除されましたが、再開後の稼働率回復は困難でした。

青少年育成センターは、東日本大震災による夏期の電力不足対策の輪番休館（7～9月、週1回）がありましたが、稼働率は前年度を上回りました。

青少年交流センターでは、稼働率は前年度を若干下回りました。居場所を求めて「ふらり」と来館する青少年に向き合い気づきを引き出すロビーワークについては、スタッフが大幅に入れ替わり、青少年との信頼関係を再構築してきました。

2 「青少年を支える人材を育成する事業」

青少年育成センターは、「講座、セミナー」の実施で、青少年活動の支え手の「人材育成研修・講座等」を体系化し、地域で活動するスタッフ育成に貢献するとともに、新たな担い手の掘起こしにつなげました。

青少年交流センターは、『『青少年の居場所づくり』全国フォーラム2012』を開催し、全国から参加した支え手相互の交流と人的ネットワークが広がり、今後の事業展開への貢献が期待されます。また、中学生から大学生による「青少年委員会」や「夏期青年ボランティア」、「社会教育実習生」の受け入れ事業をとおして支え手となる青少年の人材育成を行ない

ました。

3 「青少年に体験機会や活動の場を提供する事業」

事業課では、高校生や他団体と協働で多くの事業を実施し、身近な地域で親子がふれあう機会など様々な体験の機会を提供してきました。その一方で、こういった活動場面での法人のアピール不足が課題になっています。

放課後キッズクラブ担当は、小学生のための放課後の安全な遊び場と集団活動の場として19か所を運営しました。地域のイベントへの参加や地域の方々にボランティアとしてプログラムを提供いただくなど、交流や相互理解に積極的に取り組みました。

青少年交流センターでは、青少年委員会企画事業を始め数多くの事業を実施しました。今後は、提供型事業から参画型事業へ重心を移す等、青少年交流センターの原点を意識しながら事業に取り組めます。

青少年研修センターは、野島海岸の海や全天候型施設のメリットを生かしたプログラムを提供しています。また、「ハートフルスペース宿泊体験」「(適応指導教室通室児童対象)や「野島クリスマスキャンプ」(特別支援学級児童・生徒対象)は、多くのボランティアスタッフの熱意に支えられ、当初計画を変更して実施しました。

今後は、なお一層、施設周辺の海岸や緑地など自然環境に着目し活用したプログラム開発を推進、提案していきます。

4 「その他法人目的達成のための事業」

冊子「YOKOHAMA EYE'S 2011」を発行

青少年育成活動・支援活動、研究報告・事例集として冊子「YOKOHAMA EYE'S 2011」を発行しました。折しも東日本大震災発生後であり、「震災と居場所」を特集テーマとしています。

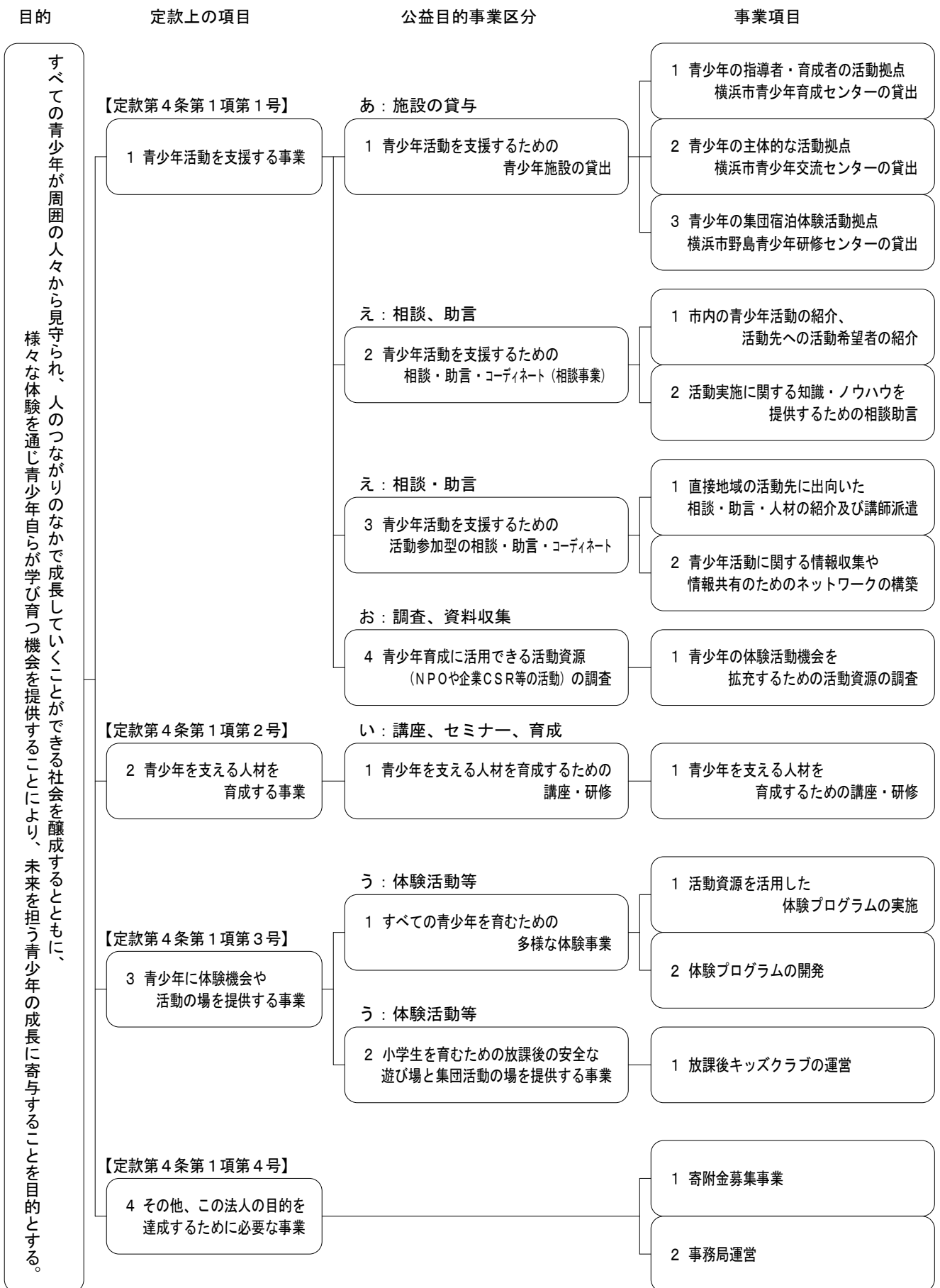
「継続寄附制度」に変更

公益財団法人へ移行した際に、「賛助会員制度」から「継続寄附制度」に変更しました。しかし、永年ご協力いただいていた「旧賛助会員」の多くの方々から、「会員」ではなくなったことへの戸惑いの声をいただいています。また、変更に伴って「寄附者」が減少したことと合わせ、次年度以降の大きな課題となりました。

厳しくかつ不確定要素がある状況下での「公益財団法人よこはまユース」初年度でした。

今後も「横浜市の青少年育成施策の一翼を担う公益財団法人よこはまユース」として、長期的に市民の期待と信頼に応えられる法人であり続けるためには、盤石な経営基盤が必要です。法人の組織・経営基盤強化を図るため、平成23年度に「試験導入した「事業評価システム」により法人の全事業を評価し、平成24年度から本格実施することにしました。

平成23年度 公益財団法人よこはまユース事業体系図



平成 23 年度事業報告書

施設名・課名

事業課

事業分野		A: 青少年活動を支援する事業			
公益目的事業区分		え: 相談、助言			
事業名 事業区分		事業実施内容			
1	【事業区分】 A-Ⅲ 【事業名】 直接地域の活動先に出向いた相談・助言・人材の紹介及び講師派遣 【個別事業名】 講師派遣	実施日時: 平成23年4月1日～	平成24年3月31日	定員: 26件	参加者数: 17人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年活動の充実を目指し、行政、学校、PTA、団体や機関が実施する研修をコーディネートする。 ・依頼者を限定せず相談に応じ、企業や地域等と法人の関係及び青少年育成への理解を深める。 			
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼に応じた研修実施に向けた内容の提案及び調整、必要な人材の人選と派遣交渉 ・研修資料の作成(ケースバイケース) 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の運営に参画(講師、講師の補助、運営支援) 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣内容の記録ならびに報告 			
		【コメント】			
2	【事業区分】 A-Ⅲ 【事業名】 直接地域の活動先に出向いた相談・助言・人材の紹介及び講師派遣 【個別事業名】 十日市場中学校地域交流事業	実施日時: 平成23年4月1日～	平成24年3月31日	定員: 人	参加者数: 人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・事業を通して地域と学校・中学生がつながり、地域の大人と青少年がともに活動することで、青少年の自己肯定感や有用感の獲得につなげる。また、学校や家庭以外の多様な価値観との接触によって青少年の精神的成長、社会性向上を図る。 ・青少年が地域との関わりを持つことで、地域の活性化につなげる。 ・平成23年度は地域の自立的活動への移行に向けた助言や補助的支援を行なう。 			
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ※交流事業毎に下記のサイクルを実施している 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向いた青少年活動に関する相談や助言 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の状況を客観的に検証し、改善点などを確認 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動反省会への出席と助言などを行ない、次のステップにつなげる 			
		【コメント】			

3	【事業区分】 A-Ⅲ 【事業名】 直接地域の活動先に出向いた相談・助言・人材の紹介及び講師派遣 【個別事業名】 市教育委員会と連携した体験活動展開のための活動支援	実施日時: 平成23年4月1日～	: ~ :	定員: 人	参加者数: 人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の総合学習「横浜の時間」の学習カリキュラムの効果的な実施を支援するために、市内の体験活動資源（施設、場所、活動団体、人等）の資料を作成し、法人のコーディネート機能とともに学校に周知する。 ・これにより、地域と学校の連携、法人のPR、体験活動の機会や内容の広がりが期待できる。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の組織改変、方針変更により未実施（資料配布のみ実施） ・昨年度の調査資料の整理 ・資料の精査 <li style="padding-left: 20px;">↓ ・教育委員会と調整（ニーズの確認） ・教育委員会への協力依頼・役割分担 <li style="padding-left: 20px;">↓ ・全校に資料配布 				
		【コメント】				

事業分野		A: 青少年活動を支援する事業				
公益目的 事業区分		お: 調査、資料収集				
事業名 事業区分		事業実施内容				
1	【事業区分】 A-IV 【事業名】 青少年の体験活動機会を拡充するための活動資源の調査 【個別事業名】 環境系の活動団体と青少年活動団体が連携した体験活動の調査	実施日時:	平成23年11月～1月	定員:	人	
		【事業概要】	【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校や大学の社会貢献活動及び青少年育成活動団体の活動の充実を支援するために、環境系の活動団体と青少年活動団体が連携した体験活動を調査する。 ・また、調査結果をホームページ活動マップに反映する。 			
		【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の調査資料の整理 ・資料の精査 ↓ ・環境系の活動団体へのアンケート、ヒアリング調査 ・青少年活動団体へのアンケート、ヒアリング調査 ↓ ・資料作成→法人ホームページ活動マップに反映 			
		【コメント】				
2	【事業区分】 A-IV 【事業名】 青少年の体験活動機会を拡充するための活動資源の調査 【個別事業名】 『活動団体ガイドブック～みんなができる体験活動～』の発行	実施日時:	平成24年3月19日(月)	定員:	2000部	
		【事業概要】	【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が自然や体験活動への関心を高める ・小中学生とその保護者が地域で行われているさまざまな活動を知る機会とする 			
		【事業内容】	【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の自然ならびに青少年活動団体の活動内容、所在等の調査ならびにリストアップ作業 ・活動内容の公開や連絡先明示などの基準による掲載団体の選定 ・選定団体の内容確認作業と掲載依頼、校正、印刷作業 【冊子仕様】 <ul style="list-style-type: none"> ・A5、本文48頁、無線綴じ製本 【配布等】 <ul style="list-style-type: none"> ・体験フェスタ2012会場での参加者への配布、関係団体への配布、市内小中学校への教員向け配布など 			
		【コメント】				

事業分野		C:青少年に体験機会や活動の場を提供する事業			
公益目的 事業区分		う:体験活動等			
事業名 事業区分		事業実施内容			
1	【事業区分】 C-I 【事業名】 横浜青少年サイエンスプログラム 【個別事業名】 発見！横浜の自然・野島海岸周辺の自然観察	実施日時: 平成23年9月25日(日)	9:00 ~ 12:30	定員: 40人	参加者数: 26人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の自然(干潟)への関心を高める ・高校生が自ら計画し、小中学生に干潟の自然観察を指導することによって成長を促す ・干潟観察を通して異年齢間の交流を図る 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導役の高校生たちの事前学習と指導企画検討・準備 ・参加小中学生募集 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の指導により、野島海岸の干潟に生息する生物採取や顕微鏡による観察 ・観察後の参加者と高校生との交流、発表・意見交換会 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生にアンケートを実施 			
		【コメント】			
2	【事業区分】 C-I 【事業名】 横浜青少年サイエンスプログラム 【個別事業名】 鶴見川の生き物発見！～鶴見川生物観察会・清掃活動～	実施日時: 平成23年10月30日(日)	9:00 ~ 12:50	定員: 50人	参加者数: 62人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の自然(川や河川敷)への関心を高める(鶴見川の変遷と生物に対する環境の関係等) ・高校生が自ら学び、小学生に河川敷の自然観察を指導することによって成長を促す ・川や河川敷の生物観察や清掃活動を通して異年齢間の交流を図る 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導役の高校生たちの事前学習と指導企画検討・準備 ・参加小学生募集 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の指導により、鶴見川や河川敷に生息する生物採取や顕微鏡による観察 ・ダックレースをしながら鶴見川を清掃 ・清掃活動や観察後の発表・意見交換会 【事後振り返り等】			
		【コメント】			

3	【事業区分】 C-I 【事業名】 横浜青少年サイエンスプログラム 【個別事業名】 天文教室	実施日時: 平成24年2月4日(土)	16:30 ~ 19:00	定員: 50人	参加者数: 49人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の自然(宇宙)への関心を高める ・高校生が自ら学び、小中学生にプラネタリウムによる星空解説や天体観測を指導することによって成長を促す ・プラネタリウムと都会の星空、両者の見え方の差より環境(光害)についての理解度を高める ・天体観測等を通して異年齢間交流を図る 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導役の高校生たちの事前学習と指導企画検討・準備 ・参加小中学生募集 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生による移動式デジタルプラネタリウムを活用した星空解説 ・高校生の指導による天体望遠鏡等による天体観測 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・反省会 				
		【コメント】				
4	【事業区分】 C-I 【事業名】 横浜青少年サイエンスプログラム 【個別事業名】 体験！化石の教室	実施日時: 平成24年1月29日(日)	10:00 ~ 12:00	定員: 40人	参加者数: 34人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の自然(地球の歴史)への関心を高める ・高校生が自ら学び、小中学生に地層観察・化石レプリカ製作を指導することによって成長を促す ・レプリカ製作等を通して異年齢間交流を図る 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導役の高校生たちの事前学習と指導企画検討・準備 ・参加小中学生募集 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の指導による化石に関する講義や化石レプリカづくり ・観察後の発表・意見交換会 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・反省会 				
		【コメント】				
5	【事業区分】 C-I 【事業名】 横浜青少年サイエンスプログラム 【個別事業名】 自分だけのロボットを動かす、学ぶ	実施日時: 平成24年3月25日(日)	9:00 ~ 12:50	定員: 20人	参加者数: 18人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生のプログラミングへの関心を高める ・高校生が自ら学び、小中学生にレゴロボの製作とプログラミングを指導することによって成長を促す ・プログラミングを通して異年齢間交流を図る 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導役の高校生たちの事前学習と指導企画検討・準備 ・参加小中学生募集 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の指導により、レゴロボの製作とプログラミング ・プログラミング後の動作実験・意見交換会 【事後振り返り等】				
		【コメント】				

6	【事業区分】 C-I 【事業名】 高校生道志水源林ボランティア 【個別事業名】 高校生道志水源林ボランティア	実施日時: 平成24年8月6日(土)	8:00 ~ 19:00	定員: 40人	参加者数: 37人	
		【事業概要】 【事業目的】 ・自然の中で活動する充実感と自然環境への理解を深めながら、ボランティア活動への興味につなげる。 ・スタッフや仲間との出会い、そしてボランティア活動を通じ、社会性を育む。 【事業内容】 【事前準備】 ・横浜市水道局との企画内容の調整 ・ボランティア募集と事前研修 【当日】 ・ボランティアの引率と監督 ・活動の記録・ 【事後振り返り等】 ・活動アンケートの実施(水道局兼用)				
		【コメント】				
7	【事業区分】 C-I 【事業名】 出張プラネタリウム 【個別事業名】 出張プラネタリウム	実施日時: 通年	: ~ :	定員: 570人	参加者数: 1255人	
		【事業概要】 【事業目的】 ・子どもたちの自然(宇宙)への関心を高める ・プラネタリウムへ行く機会がない子どもたちに体験の場を提供する ・市教育委員会や学校と連携した体験授業への足がかりをつくる 【事業内容】 ・移動式デジタルプラネタリウムの開発 ・放課後キッズクラブへの事業の周知 ・年齢層に合わせた星空解説の実施 ・希望により実際の空での天体観測 ・投影中や投影後の質疑応答 ・次年度以降の展開検討(野島青少年研修センターでの通常プログラム化含む) ・定員は1キッズ30名参加と仮定し、19キッズなので、570名				
		【コメント】				

8	【事業区分】 C-I 【事業名】 体験プログラムの開発と実施体制づくり 【個別事業名】 青少年や親子対象の体験プログラム(モデル事業)	実施日時: 平成23年4月から通年 : ~ : 定員: 3000人 参加者数: 4356人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体と法人が協働で体験プログラムを実施することにより、市民に体験機会を数多く提供する ・市民全体に青少年団体の活動の理解を深める ・学校や家庭では体験し難い様々な体験を通じて、青少年を育む 【事業内容】 【事前準備】 ・青少年団体に市民が参加できるプログラムを調査 ・よこはまの青少年の体験活動に関する懇話会を中心に呼びかけ、協働実施の調整、事業準備 【当日】 団体と協働で事業運営 【事後振り返り等】 評価、検証、今後の展開を検討し次回以降に反映今年度の実績 6月12日(日):少年五団体「ドリームキッズアドベンチャー」 於:本町小学校 404人 11月3日(木祝):ボーイスカウト「今川公園キッズコミュニティ・だれでも外遊び」 於:旭区今川公園 約1,100人 11月12日(土)～13日(日):多文化共生教育ネットワークかながわ「オルタボイスキャンプ」 於:野島研修センター 約100人 12月18日(日):よこはま西部ユースプラザ「ひきこもりを考えるフォーラム」 於:岩崎学園・横浜カレッジ 80人 1月15日(日):ローバースカウト「ヨコハマ風祭り」 於:新横浜公園 819人 3月20日(火・祝):懇話会を中心とした実行委員会「体験フェスタ2012」内『野外カポイントラリー』 於:山下公園 1,853人	
	【コメント】	
9	【事業区分】 C-I 【事業名】 体験プログラムの開発と実施体制づくり 【個別事業名】 よこはまの青少年 体験フェスタ2012～生きるチカラ～	実施日時: 平成24年3月20日(火) 10:00 ~ 15:00 定員: 一人 参加者数: 1853人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年活動参加への敷居を下げる。 ・青少年活動について子どもだけでなく保護者にも理解してもらう。 ・地元で青少年活動を体験するきっかけを提供する。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会組織・開催 ・参加団体調整、広報(チラシ・ポスター製作配布)、会場設営、パネル製作、当日ボランティアの募集、記念品準備 【当日】 参加費無料・雨天決行(荒天時中止) <ul style="list-style-type: none"> ・イベント運営(山下公園内記念碑等活用野外力検定ポイントラリー・カッター訓練デモ) ・課題を持つ青少年相談コーナーの設置 ・市内青少年活動団体のPR(パネル展示・ユースガイドブック配布) ・青少年団体による体験活動(ワークショップ含む)の提供 ・記念品の配布 	
	【コメント】	
10	【事業区分】 C-I 【事業名】 自然・社会体験プログラム 【個別事業名】 自然・社会体験プログラム	実施日時: 平成23年4月から通年 : ~ : 定員: 人 参加者数: 人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての青少年を育むための多様な体験機会を提供する。 ・活動資源を活用して自然(科学)・社会体験プログラムを実施する。 ・体験活動への関心を高める。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年が興味をもって参加できるプログラムの企画・準備 ・地域や学校、団体との調整 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校、団体と連携した体験プログラムの実施 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・評価、検証 	
	【コメント】	

事業分野		D:その他法人目的達成のための事業			
公益目的 事業区分					
事業名 事業区分		事業実施内容			
1	【事業区分】 D-I 【事業名】 爆笑！濱っ子寄席 【個別事業名】 第51回 爆笑！濱っ子寄席	実施日時: 平成23年11月18日(金)	18:00 ~ 21:00	定員: 1000人	参加者数: 662人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・法人事業について連携団体に対し協力、理解を促す。 ・寄附金募集。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の開催、出演者調整、広報など実施までの運営に関わる事務 ・協賛広告、観客の募集と調整 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・寄席演芸 ・募金活動 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告(決算含む)と実行委員会による反省会実施 			
		【コメント】			
2	【事業区分】 D-II 【事業名】 法人ホームページ 【個別事業名】 法人ホームページの管理	実施日時: 通年	: ~ :	定員: 25000人	参加者数: 41836人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・「公益財団法人よこはまユース」という法人の存在を周知する ・管理運営施設等についての情報を発信する ・主催事業の参加者を増加させる 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人移行に伴うホームページリニューアル作業 ・情報の更新および追加 ・使い勝手の改良(目的の情報に素早くアクセスできる) 			
		【コメント】			

3	【事業区分】 D-II 【事業名】 年報「YOKOAHAMA EYE' S」の発行 【個別事業名】 年報「YOKOHAMA EYE' S」の発行	実施日時: 平成24年3月31日(土)	: ~ :	定員: 1000部	参加者数: 人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・主に法人実施事業や青少年育成に関する法人職員の論考を年報として発行することによって、法人の取り組みとその専門性を外部に対してPRする。また、活動団体や活動者の寄稿を通じて、地域の青少年育成の取り組みも市民に伝える。 ・執筆を通して、職員が実施事業を見つめる機会とし、職員の資質向上につなげる。 				
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・編集方針、体裁等の決定、印刷会社の選定 ・掲載事業等の選定、執筆依頼 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・校正作業等、執筆者との連絡調整 ・発行までのスケジュール管理 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・関係各所への配布 				
【コメント】						

平成 23 年度事業報告書

施設名・課名 横浜市青少年育成センター

事業分野		A:青少年活動を支援する事業			
公益目的 事業区分		あ:施設の貸与			
事業名 事業区分		事業実施内容			
1	【事業区分】 A—あ 【事業名】 諸室及び物品の貸出 【個別事業名】 会議室・スタジオ等の貸出・受付	実施日時: 通年 : ~ : 定員: 6556コマ 参加者数: 53571 人			
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用に関する情報を広く提供し、多くの団体に活動の場を提供する。 ・活動団体が安心して研修・会議を運営できるよう、施設の利用環境を整える。 ・出来る限り団体の要望に応えることで、活動を支援する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <参考資料> 平成 22 年度利用実績 協約件数 3,640 件 実績件数 4,194 件 稼働率 62.3% </div>		
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・会議・研修室等の貸出 ・施設の安全・衛生環境管理 ・データベースによる予約管理 ・利用者アンケートの実施 【実績】 利用件数:4272件 稼働率:65.2%			
【コメント】					
2	【事業区分】 A—あ 【事業名】 諸室及び物品の貸出 【個別事業名】 プリントルーム運営/館外貸出物 品の提供	実施日時: 通年 : ~ : 定員: 人 参加者数: 521件			
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・着ぐるみなどの備品を整備し、貸し出すことにより、地域の青少年活動を支援する。 ・印刷作業の場や機材を利用しやすい環境にすることで、活動団体の事務所機能を支援する。 			
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・館外貸出物品(着ぐるみ等)の予約受付・保守管理 ・プリントルームの運営(コピー機・印刷機の貸出、予約受付・機材保守管理・備品の管理) 【実績】 貸出し物品 利用件数:29件(前年度58件) 利用料合計:60,000円 コピー・印刷機 利用件数:492件(前年度584件) 利用料金合計:338,070円			
【コメント】					

3	【事業区分】 A—あ	実施日時: 平成23年7月29日(金)	10:30～12:30	定員: 40人	参加者数: 35人	
	【事業名】 夏期利促進事業(利用者サービスの向上および利用促進)	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成活動や地域活動がより充実するための実践的・体験的手法を学ぶ機会を提供する。 ・利用が減少する夏期の利用促進として、日頃利用が少ない年齢層(親子・小中高生など)が参加できる事業とし、施設をPRする。 ・子どもや青少年が体験できる、直接的な青少年育成事業をあわせて行う。 ・近隣学校と連携し、夏期休暇を利用した青少年の社会体験の機会を提供する。 			
	【個別事業名】 親子で楽しむ・青少年活動で役立つ「デジカメ講座」	【事業内容】	<p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなと総合高校顧問と打合せおよび、高校生向け資料作成 <p>【当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義(映像の持つ意味と重要性～デジカメの現状～撮影のコツ・アングル～子どものイキイキとした表情を撮る～子ども向け撮影のコツ)～実習(フィールドワーク)～評価と講義(写真の整理の仕方) <p>講師:大向 哲夫氏(よこはまユース理事、神奈川読売写真クラブ会長)</p>			
【コメント】		平成24年度の利用促進事業は、関内ホールのイベントに合わせて実施する。				

事業分野	A: 青少年活動を支援する事業					
公益目的 事業区分	え: 相談、助言					
事業名 事業区分		事業実施内容				
1	【事業区分】 A—え	実施日時: 通年	: ~ :	定員: 人	参加者数: 7人	
	【事業名】 活動実施に関する知識・ノウハウを提供するための相談・助言	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応に関する知識や技術を深め、相談者に対してよりよい提案・対応をする。 ・全スタッフともに、迅速かつ丁寧な受付対応ができるようにする。 			
	【個別事業名】 コーディネーター会議、研修	【事業内容】	<p>【コーディネーター会議の実施】(毎月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入・稼働率・利用件数の進捗状況報告、月ごとの課題に対する協議 ・情報スポットでの相談状況の報告、対応の検討 <p>【コーディネーター研修の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションによる相談対応の事例検討 			
【コメント】						

2	【事業区分】 A—え	実施日時: 平成23年9月～12月	: ~ :	定員: 人	参加者数:
	【事業名】 活動実施に関する知識・ノウハウを提供するための相談・助言	【事業概要】 【事業目的】 ・活動団体から青少年育成に関わる情報を収集し、相談対応や情報提供に反映する。 ・活動団体と顔の見える関係を築き、相談に訪れる指導者・育成者とコーディネートしやすい環境をつくる。 ・活動団体を訪問することで、情報スポットを含めた育成センターの活動をプロモーションする。	【事業内容】 ・青少年育成に関わる行政機関・施設・市民団体などの訪問。体験プログラムに関する情報の収集。 (訪問件数:12団体) ・情報を蓄積し、指導者・育成者からの相談対応や情報提供に反映。	【個別事業名】 アウトリーチ活動(情報収集)	【コメント】 今後は情報提供の仕方を、ニーズ対応型から啓発型へ転換することを検討。
3	【事業区分】 A—え	実施日時: 通年	: ~ :	定員: 人	参加者数: 人
	【事業名】 活動実施に関する知識・ノウハウを提供するための相談・助言	【事業概要】 【事業目的】 ・情報スポット事業、アウトリーチ活動、懇話会等で収集した情報をホームページを通じ提供し、指導者・育成者の資質の向上を図る。 ・育成センターの活動をPRすることで、育成センター利用者増を図っていく。	【事業内容】 【情報提供】 ・利用(会議室・印刷室・貸し出し物品)についての告知。 ・事業についての告知 ・相談や情報提供など、情報スポット事業についての告知。 【報告】・事業終了報告 ・その他活動報告 【改善】より見やすいページを目指し、情報提供の充実が図られているかどうか、を点検。	【個別事業名】 ホームページによる情報提供	【コメント】 青少年関係のポータルサイトを目指していく。
4	【事業区分】 A—え	実施日時: 通年	: ~ :	目標: 200件	相談件数: 101件
	【事業名】 活動実施に関する知識・ノウハウを提供するための相談・助言	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年育成活動に関する情報を提供することで、指導者・育成者の資質向上および活動の充実を図る。 ・指導者・育成者の活動充実により、地域における青少年育成活動の発展につなげていく。 ・市民からの相談をもとに、求めている情報や課題等を備蓄する。 ・対応できるようにスタッフのスキルアップを図る。	【事業内容】 【情報収集】 ・活動に必要な情報の収集/提供(助成金情報、ボランティア市内外の施設・団体・イベント情報の収集→データベース化) ・相談窓口の情報収集/分野別ファイリング 【相談受付】 ・電話/FAX/来所/メールによる相談受付(随時) ・スタッフ研修(ケース検討会/月1回) ・月次報告(横浜市に提出) 【情報提供】 ・掲示/配架(研修会・イベント案内・助成金情報・ボランティア情報)・MLによる提供(登録者による助成金情報や研修情報)	【個別事業名】 活動情報スポット (相談・情報提供)	【コメント】

5	【事業区分】 A—え	実施日時： 平成23年5月27日～12月14日	: ~ :	定員： 人	参加者数： 5～11団体
	【事業名】 情報収集や情報共有のネットワーク構築	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年育成に関わる団体間のゆるやかな交流・連携を図る。 ・青少年団体同士の協働事業の取組みを支援する。	構成団体： 少年5団体/海をつくる会/ヨコハマ未来地図づくり100人委員会/ 横浜子どもと自然ネットワーク/金沢動物園/横浜市環境創造局/ 横浜市教育委員会/横浜市子ども青少年局		
	【個別事業名】 よこはまの青少年の体験活動に関わる懇話会	【事業内容】 会議(年4回実施) 5月27日 第1回)今年度の取組みや年間計画について、参加団体間での情報交換 9月28日 第2回)今年度の取組みの決定(各団体が実施する体験プログラムへの参加及び参加報告会の実施) 10月上旬～11月下旬)体験プログラムへの参加 11月30日 第3回)体験プログラムへの参加報告、参加団体間での情報交換 12月14日 第4回)体験プログラムへの参加報告、今年度のふりかえり			
		【コメント】			

事業分野	B: 青少年を支える人材を育成する事業				
公益目的 事業区分	い: 講座、セミナー、育成				
事業名 事業区分		事業 実施 内容			
1	【事業区分】 B—い	実施日時： 平成23年9月29日～11月24日	: ~ :	定員： 延べ157人	参加者数： 延べ162人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに関わるスタッフの養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・市民利用施設スタッフが青少年へのかかわりや考え方について学び、身近な居場所づくりの考えを広げる。 ・地域活動拠点の実践を講義や見学で活用し、地域活動拠点と育成センターの連携を深める。 ・概論だけでなく実践的な事例をもとにした研修内容にする。 ・財団の新採用スタッフ研修の場として活用する。 ・連続講座とすることで、特定の視点だけでなく多方面から「居場所の実践」を学ぶ機会を提供する。	【事業内容】 【当日】 <>内は各回の定員 ①9/29-導入講義:「青少年に関わる大人の役割とは」「青少年支援の視点から見る“居場所”」<30人> ②10/6-実践見学「フリースペースみなみ」<10人> ③10/12-テーマ研修①「青少年にとって、スタッフはどんな大人?～青少年から聞いてみよう～」<20人> ④10/19-テーマ研修②「排除から受入れへ～地域施設における青少年の居場所づくり～」<20人> ⑤10/25-実践見学「ことぶき青少年広場」<7人> ⑥11/2-テーマ研修③「青少年の行動心理～「なぜこんなことするのか?」～」<20人> ⑦11/9-テーマ研修④「地域と子どもたちを結びつける～子どもが育つ・大人も育つ～」<20人> ⑧11/24-ふりかえり講義 <30人>		
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」(連続講座/8回)	【全体評価】	【コメント】 実践的な話や見学により、参加者の活動に活かせる研修機会を提供することができた。		

1 ①	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年9月29日(木)	18:30~20:30	定員: 30人	参加者数: 37人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに関わるスタッフの養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・実践見学/テーマ研修につなげるため、「居場所」と「関わる大人」を概念的に理解する。 ・今後の研修をスムーズに実施するために、参加者の動機の意識付けならびに、受講の動機を把握する。	【事業内容】 【当日】 講師:萩原建次郎(駒澤大学総合教育研究部准教授) ・講義「居場所づくりから見えること」一本講座で使う「大人」の定義確認、地域の居場所づくりが求められる背景、中間領域の必要性、中間領域が生み出す居場所の例(京都市南青少年活動センター、横浜市青少年交流センター他)、大人の役割 ・質疑応答(参加者からの質問に答える) ・自己紹介/課題の共有(関わる実践や青少年の居場所づくりについて思うこと、本講座の受講動機を一人ずつ紹介) ・まとめ(講師からのふりかえり) ・オリエンテーション(次回以降の参加方法について)		
1 ②	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年10月6日(木)	18:30~19:45	定員: 15人	参加者数: 13人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに関わるスタッフの養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・横浜市の青少年施策である「地域活動拠点」の取組みを理解する。 ・実践および現場を見学することで、青少年への関わりの具体に触れる。	【事業内容】 ・参加者引率 ・FSみなみ施設説明(FSみなみの理念、青少年への関わりについて 他) ・質疑応答 ・ふりかえりシートの説明		
1 ③	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年10月12日(水)	18:30~20:30	定員: 20人	参加者数: 23人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに関わるスタッフの養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・地区センターをはじめとする市民利用施設スタッフが青少年との関わりのヒントや運営の工夫を学び、実践に役立てることができるか ・市民利用施設における青少年との関わりの課題を共有する。	【事業内容】 ①交流センターについて(概要説明/VTR放映) ②交流センターを利用する青少年への質問(なぜ交流センターに来たか、今まで大人から言われて一番印象に残っていること 他) ③参加者との質疑応答 ④小グループでの意見交換 ⑤まとめ・ふりかえり(居場所となり得る空間では、どのようなスタッフが求められるか)		
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」①導入講義「青少年の居場所づくりから見えること」	【コメント】			
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」②実践見学「フリースペースみなみ」	【コメント】			
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」③テーマ研修(1) 「青少年にとって、スタッフはどんな大人？」	【コメント】			

1 ④	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年10月19日(水)	18:30～20:30	定員: 20人	参加者数: 20人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに携わるスタッフ養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・地区センターをはじめとする市民利用施設スタッフが青少年との関わりのヒントや運営の工夫を学び、実践に役立てる。 ・市民利用施設における青少年との関わりの課題を共有する。	【事業内容】 ①前回テーマ研修のふりかえり(地区センターのスタッフに対する交流センターを利用する青少年の意見について) ②講義「地区センターにおける青少年の居場所づくり～28年間の体験から」 講師:中村 喜久栄氏(元横浜市地区センター館長) ③質疑応答 ④参加者からの意見(地区センターの現状と課題) ⑤まとめ		
【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」④テーマ研修(2) 「排除から受入れへ～地域施設における青少年の居場所づくり」		【コメント】			
1 ⑤	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年11月2日(水)	18:30～20:00	定員: 20人	参加者数: 16人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに携わるスタッフ養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・専門家(臨床心理士)から話を聞き、思春期の行動・心理を理解することで、各自の実践において積極的な関わりができるようになる。	【事業内容】 ①思春期・青年期はどのような時期か? 講師:有吉 晶子氏(臨床心理士) ②現代の青少年の問題 ③今、大人ができること ④質疑応答 ⑤まとめ/ふりかえり		
【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」⑤テーマ研修(3) 「青少年の行動心理～なぜ、こんなことするの?～」		【コメント】			
1 ⑥	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年10月25日(火)	17:45～19:00	定員: 7人	参加者数: 7人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに携わるスタッフ養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・横浜市の青少年施策(地域活動拠点)の動向や実践を理解する。 ・さまざまな背景を持つ青少年の居場所づくりの実践、スタッフの役割を理解する。	【事業内容】 ①参加者引率 ②ことぶき学童保育および青少年広場見学 ③スタッフによる実践説明 ④質疑応答/意見交換 ⑤ふりかえり		
【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」⑥ 実践見学「ことぶき青少年広場」		【コメント】			

1 ⑦	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年11月9日(水)	18:30~20:00	定員: 20人	参加者数: 16人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに携わるスタッフ養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・地域連携の実践を学び、実践に活用できるヒントを得る。 ・青少年を地域で育てていくために、地域施設のあり方や地域の課題に気づく。 ・青少年の地域活動拠点事業と連携し、理解を深める。	【事業内容】 ①「はあとdeボランティア活動」について(中学生が参加する理由、大人が関わる仕掛け、大人たちが理解したこと 他) 講師: 林田 育美(つづきMYプラザ 館長) ②質疑応答/意見交換 ③まとめ(地域がつながっていくために)		
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」⑦テーマ研修(4) 「地域の力と子どもたちを結びつける」	【コメント】			
1 ⑧	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年11月24日(木)	18:30~20:30	定員: 30人	参加者数: 26人
	【事業名】 青少年人材養成研修(居場所づくりに携わるスタッフ養成)	【事業概要】 【事業目的】 ・見学や研修など、あらゆる“実践”について学んだことを、各自でふりかえるとともに、参加者で共有し「青少年に関わる大人の役割」を全員で考え活用できるようになる。 ・2ヶ月間の集大成として、研修による意識(青少年への関わり)の変化についてふりかえる。	【事業内容】 ①講義「青少年にかかわる大人の役割」-講義の中からキーワードをふりかえる。5つの視点。 講師: 萩原 建次郎(駒澤大学総合教育研究部 准教授) ②グループワーク「本講座で分かった大人の役割とは何か」⇒発表 ③まとめ「これから求められる大人の役割」とは? ④全体ふりかえり/修了式		
	【個別事業名】 「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」⑧ふりかえり講義	【コメント】 参加者同士が理解を深めるグループワークに重きを置いたため、参加者満足度の高さに繋がった。			
2	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年10月1日(土)	9:30~12:30	定員: 35人	参加者数: 21人
	【事業名】 団体支援事業	【事業概要】 【事業目的】 ・概論だけでなく、グループワーク等を取り入れ理解しやすい内容とすることで、社会経験の乏しい青年リーダーの活動充実に繋げる。(次代の青少年活動者の育成) ・異なる団体の青年リーダーが会することで、他の活動情報の取得や課題、やりがいを共有できる場とする。 ・団体からの要望に応える研修内容とする。 ・研修開発の試行的事業とする。	【事業内容】 【当日】 講師: 福嶋宏盛(システムコンフォート代表) ・講義(ファシリテーションとは、話の聴き方、会議の進め方 等) ・演習(グループワーク協力して紙の塔を建てる、グループ旅行を計画する) ・まとめ/ふりかえり		
	【個別事業名】 青年リーダーのための「ファシリテーション入門」研修	【コメント】			

3	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年9月18(日)・19(祝)・ 23(祝)25日(日)	9:00～17:00(各回)	定員: 20人	参加者数: 20人
	【事業名】 青少年活動者のためのスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年活動者が、緊急時に対応する救急法の知識と技術を習得することで、活動の充実につなげる。 ・団体と協働することで、質の高い効果的な事業を実施する。	【事業内容】 【事前準備】 ・ボースカウト担当者との打合せ(ボースカウト横浜みなと地区との共催事業) 【当日】 ・講習(4日間)＜基礎講習、実技(AED、心肺蘇生法ほか)。*検定試験合格者には、適任証交付。 ※育成センターは物品の搬出入と会場整理の補助		
	【個別事業名】 日赤救急法講習会(全4回)	【コメント】			
4	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年11月5日(土)	13:30～17:00	定員: 60人	参加者数: 46人
	【事業名】 青少年指導者・育成者対象の講座・研修	【事業概要】 【事業目的】 ・被災地で始まった居場所づくりの実践から、子ども・若者や地域とのかかわりにおいて、これから横浜でできることを、参加者が考える機会とする。 ・時事(未曾有の事態について)の話題や課題について考える機会を設け、HP等で発信する。	【事業内容】 【当日】 ・第一部:活動報告「岩手県大槌町ではじまった、地元高校生たちによる居場所づくり」 報告者:石川 隆博氏(NPO法人ピアサポートネットしづや) ・第二部:シンポジウム「子ども・若者の力とこれからの地域社会」 コーディネーター:久田 邦明氏(神奈川大学 講師) パネラー:岩永 牧人氏(NPO法人ユースポート横濱 理事長) 杉野谷 和孝氏(神奈川大学4年生)石川 隆博氏 ・第三部:意見交換		
	【個別事業名】 シンポジウム「震災と子ども・若者のこれから」	【コメント】 子ども・若者や地域との関わりについて考える機会となった。			
5	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成24年2月28日(火)	19:00～21:00	定員: 30人	参加者数: 40人
	【事業名】 青少年活動者のためのスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】 ・思春期世代の青少年の気持ちに寄り添い、可能性を伸ばす支援方法について、考え方や技術を学ぶ。 (参加者が日常的な関わりの中で実行できるものとする) ・様々な立場で青少年に関わる人が、広く参加できる講座とする。(団体所属でなく、スポーツ団体のコーチ、青指等)	【事業内容】 ・講義:コーチングの目的、「コーチング」と「ティーチング」の違い 講師:川本 正秀氏(共育コーチング研究会 代表) ・演習:ペアワーク「話を促す・聞く」 ・まとめ		
	【個別事業名】 「子ども・若者の力を引き出す“コーチング入門”」	【コメント】 ワークショップなどたいへん解りやすい内容で、参加者にはたいへん好評であった。			

6	【事業区分】 B—い	実施日時: H24年3月6日(火)	10:00~12:00	定員: 20人	参加者数: 27人	
	【事業名】 団体支援事業	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者支援業務に必要な「記録」の必要性や目的を理解する（入門的な研修とする） 実践に役立つ記録のとり方を学習する機会を提供する。 			
	【個別事業名】 子ども・若者を支えるスタッフのための「記録のとり方」入門研修	【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> 導入（本講座の受講動機） 講義（記録の意義、活用目的、記録の種類と活用＜事例から＞、記録の方法とポイント） 講師: 杉野 聖子氏（江戸川大学総合福祉専門学校 専任教員） まとめ 			
		【コメント】	青少年の課題を共有したり、解決する上で有効なスキルを学ぶ貴重な機会となった。			
7	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成23年11月29日(火)	10:00~12:00	定員: 30人	参加者数: 40人	
	【事業名】 青少年指導者・育成者のスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい児への理解を通じて、指導者の不安感を和らげる。 他の子どもたちとの関わりの中で障がい児をどのように支援したらよいかについての理解を深める。 			
	【個別事業名】 障がいを超えた子どもとの関わり	【事業内容】	<p>【事前準備】参加者から、講師に聞きたい質問事項をあらかじめ回収する。</p> <p>【当日】</p> <p>講義① 発達障がいの理解（子どもが経験している困難と子どもへの対応）</p> <p>講義② 子ども同士が関わり合いの中で育つためにスタッフができるはたらきかけについて、及び質疑応答</p> <p>講師: 冢田 三枝子（横浜市教育委員会 指導主事）</p> <p>【事後】講義内容のHPへのアップ</p>			
		【コメント】				
8	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成24年1月21日(土)	10:00~12:00	定員: 30人	参加者数: 12人	
	【事業名】 青少年指導者・育成者のスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> 青少年のインターネットへの関わりから、青少年の考えや抱える思いを理解する。 ツイッターやフェイスブック等、新たなコミュニケーション・関係作りの手段への理解を図る。 			
	【個別事業名】 若者・つながり・インターネット	【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルネットワークサービス（フェイスブック・モバゲー・ツイッター等）について、特徴や始め方についての講義 SNSがなぜ青少年に支持されるのか、また、どのように活用されているのか、現状の講義 講師: 宮崎 豊久氏（インターネット博物館代表、横浜市子ども若者支援協議会委員） 			
		【コメント】				

9	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成24年3月25日(日)	10:00～12:00	定員: 20人	参加者数: 10人
	【事業名】 青少年指導者・育成者のスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】 ・「食」の視点から、思春期にある青少年の気持ちや考えを理解する。 ・食育プログラムのレパトリーを増やし、食育体験活動の充実に繋げる。	【事業内容】 【講義】 ・思春期にある青少年の食への意識や食生活の実態(食事における栄養バランスや間食、食事回数など)についての現状報告 ・青少年の身体の発育にとって適切な食事レシピの紹介 講師: 森政 淳子氏(鎌倉女子大学家政学部教授)		
	【個別事業名】 からだがよろこぶ思春期ごはん	【コメント】 興味深い視点や具体的な調査結果に基づく話により、参加者の満足度が高かった。			
10	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成24年3月28日(水)	19:00—21:00	定員: 40人	参加者数: 22人
	【事業名】 青少年活動者のためのスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】 ・地域で青少年にかかわる大人を対象に、思春期世代(主に中高生世代)の心を理解する。 ・地域の大人ができることを自ら考える。	【事業内容】 講演形式 講師: 相川 良子氏(NPO法人ピアサポートネットしぶや 理事長) ・大人になるということ ・若者世代の現状 ・つながる体験の必要性 ・各地の居場所づくり ・地域の大人として ・質疑応答		
	【個別事業名】 「思春期世代を理解する — 地域・大人はどう向き合う? —」	【コメント】 経験や実践を基にした具体的な話であったため、参加者の共感を得ていた。			
11	【事業区分】 B—い	実施日時: 平成24年3月16日(金)	10:00～12:00	定員: 30人	参加者数: 27人
	【事業名】 青少年活動者のためのスキルアップ研修	【事業概要】 【事業目的】 ・外国につながる児童・青少年たちの課題を知る ・地域の大人として、どのような関わりや支えができるかを理解する	【事業内容】 ・講義(横浜市の外国籍・外国につながる児童の統計など、多様化する在日外国人の形態、現場から見えてくる子どもたちの課題、オースティンの子どもたち、セーフティネットとしての機能、心の居場所の準備) 講師: 竹川 真理子氏(NPO法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾 センター長) ・意見交換(グループワーク/発表(感想/意見/質問など)) ・まとめ(外国籍の子どもの手紙から)		
	【個別事業名】 「外国につながる児童・青少年とのかかわり ～コミュニケーションと配慮すべきこと～」	【コメント】 小グループでの意見交換もあり、参加者の理解度を深める講座を運営することができた。			

平成 23 年度事業報告書

施設名・課名： 横浜市青少年交流センター

事業分野		A: 青少年活動を支援する事業					
公益目的事業区分		あ: 施設の貸与					
事業名 事業区分		事業実施内容					
1	【事業区分】 A—あ 【事業名】 諸室及び物品の貸出 【個別事業名】 会議室スタジオ等の貸出・受付	実施日時:	通年	: ~ :	定員: 15,548コマ	利用者数: 145,002人	
		【事業概要】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <参考資料> 平成 22 年度利用実績 協約人数 78,000 人(青少年) 実績人数 94,284 人(青少年) 平成 23 年度利用実績 実績人数 84,328 人(青少年) </div>				
		【事業目的】					<ul style="list-style-type: none"> ・利用に関する情報を広く提供し、多くの青少年及び団体に活動の場を提供する。 ・活動団体が安心して研修・会議を運営できるよう、施設の利用環境を整える。 ・できる限り団体の要望に応えることで、活動を支援する。
		【事業内容】					<ul style="list-style-type: none"> ・会議、研修室等の貸出 ・施設の安全、衛生環境管理 ・予約管理 ・利用報告書による利用者の声の徴集
【コメント】	利用動向を分析し、新たな利用団体の誘致を図っていく必要がある。						

事業分野		A: 青少年活動を支援する事業					
公益目的事業区分		え: 相談、助言					
事業名 事業区分		事業実施内容					
1	【事業区分】 A—え 【事業名】 【個別事業名】 ロビーワーク	実施日時:	通年	: ~ :	定員:	参加者数: 38816人	
		【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとフリースペースの青少年達と交流を図ることで青少年の課題を見つける。 ・自主事業実施へ向け、青少年の意見を反映させる。 ・スタッフとの信頼関係の中から青少年達の帰属意識を涵養する。 ・仲間作りのサポートや社会性を身につけるなどの自立支援の一助とする。 				
		【事業目的】					<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが積極的に受付やフリースペース等で、子ども達とコミュニケーションをはかる。 ・職員、コーディネーターと、フリースペースの青少年達との日常的な関わりの中から青少年のニーズを掘り起こし、意見を反映する。 ・ロビーワークについて、対象(フリースペースを中心とする施設利用者)・目的(ニーズのリサーチ、信頼関係の形成、悩み相談、参画意識の向上)・内容(利用者との関わり合い・フリースペース等で実施する事業)などについてスタッフ間で共通認識を得る。
		【事業内容】					<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが積極的に受付やフリースペース等で、子ども達とコミュニケーションをはかる。 ・職員、コーディネーターと、フリースペースの青少年達との日常的な関わりの中から青少年のニーズを掘り起こし、意見を反映する。 ・ロビーワークについて、対象(フリースペースを中心とする施設利用者)・目的(ニーズのリサーチ、信頼関係の形成、悩み相談、参画意識の向上)・内容(利用者との関わり合い・フリースペース等で実施する事業)などについてスタッフ間で共通認識を得る。
【コメント】	ロビーワークは交流センターの根幹事業なので、実績のデータを図っていく。						

2	【事業区分】 A—え 【事業名】 市内の青少年活動の紹介、活動先への活動希望者の紹介 【個別事業名】 ロビーワークスタッフの人材育成	実施日時: 通年 : ~ : 定員: 参加者数: 人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーワークスタッフとして、職員、コーディネーターを養成する。 ・ロビーワークを通じ、青少年のニーズを掘り起こし、事業実施へ向け、意見を反映する。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・定例コーディネーター会議による情報交換及び研修(4/20、5/18、6/15、7/20、8/17、9/14、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/21) ・コーディネーター研修会(8/1、9/26) ・「実践から学ぶ・青少年にかかわる大人の役割」研修参加(9/29、10/12、10/19、11/2、11/9、11/24) ・「『青少年の居場所づくり』全国フォーラム」参加(2/18、2/19) ・「意欲・力を引き出す『コーチング』入門」研修参加(2/28) ・「子ども・若者を支えるスタッフのための『記録』のつけ方」研修参加(3/6) ・「外国につながる児童・青少年とのかかわり～コミュニケーションと配慮すべきこと～」研修参加(3/16) ・「からだのよここぶ『思春期ごはん』」研修参加(3/25) ・「知ってる？ 中高生・ティーン～地域の大人たちがどう向き合うか～」研修参加(3/28)
3	【事業区分】 A—え 【事業名】 市内の青少年活動の紹介、活動先への活動希望者の紹介 【個別事業名】 青少年活動相談コーナー	実施日時: 通年 : ~ : 定員: 参加者数:
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動などの体験活動について相談・コーディネートを行う。 ・青少年自身が自ら考え、成長していけるように支援する。 ・スタッフとのふれあいを通し、青少年が多様な価値観を身につけられるように支援する。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・電話、窓口、Eメールにて青少年を活動につなげるための相談コーディネートを行う。 ・「課題を抱えている」「課題が顕在化していない」青少年に対しても緩やかな関係性を築き、様々な社会資源に繋がるような働きかけを行う。 <p style="text-align: center;">※相談件数…336件</p>
		【コメント】

4	【事業区分】 A—え 【事業名】 青少年活動に関する情報収集や情報共有のためのネットワークの構築 【個別事業名】 青少年地域活動拠点の支援(連絡会)	実施日時: 平成24年1月13日(金)	10:00 ~ 12:00	定員: 12人	参加者数: 12人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の青少年地域活動拠点同士の顔の見える関係を築く ・各拠点が抱える課題を共有し、課題解決への一助とする。 ・連絡会の立ち上げを通じて、各拠点に対して、当法人ができる支援を探る。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内9ヶ所の青少年の地域活動拠点のネットワークづくり 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人よこはまユース挨拶 ・各拠点の自己紹介・運営状況について(情報交換) ・事務連絡 ・閉会 ・施設見学 			
		【コメント】 従来は9ヶ所の拠点個々で運営していたが、「連絡会」という新たなネットワークが立ち上がった。			

事業分野		B: 青少年を支える人材を育成する事業			
公益目的事業区分		い: 講座、セミナー、育成			
事業名 事業区分		事業実施内容			
1	【事業区分】 B—い 【事業名】 青少年対象の活動実践を通じた育成研修 【個別事業名】 夏期青年ボランティア	実施日時: 平成23年7月24日() ~ 8月28日	13:00 ~ 16:00	定員: 300人	参加者数: 311人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青年ボランティアの養成を図る。 ・異年齢間交流の場を提供し、他者を尊重する精神を培ってもらう。 ・自主的活動を支援することで、自己肯定感を育てる。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 登録人数: 40人(高校生~37歳) 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明会(3回)による活動紹介 ・事前研修会(1回)による活動に対するレクチャー 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みイベント(木工教室・料理教室・工作教室等)の進行補助 ・フリースペース及びレクリエーションホールにおける子ども達の遊びや勉強のサポート、話し相手 ・ボランティア班ごと(1日2班)の活動振り返り 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・当日活動後のグループ単位での活動のふりかえり、今後の継続的活動をめざした事後研修(全活動終了最終日) 			
		【コメント】 参加したボランティアに活動を通じて何を伝えたいかを、職員で共有しておく。			

2	【事業区分】 B—い 【事業名】 青少年対象の活動実践を通じた育成研修 【個別事業名】 社会教育実習生受入	実施日時: 平成23年4月28日～11月28日	9:00～18:00	定員: 10人	参加者数: 6人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年との交流活動を通じた研修を提供することにより、青少年を支える人材を育成する。 ・異年齢間交流の場を提供し、ボランティアと青少年の利用者双方の考え方を理解し、他者を尊重する精神を培ってもらう。 ・研修プログラムを提供することによる、職員の指導能力の向上を図る。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・大学と実習生との事務連絡及び日程調整 【当日】 ※実習期間:約2週間 <ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌のコメント記入 ・ロビーワーク、受付及び事業運営補助など、実習環境・プログラムの提供 ・青少年や利用者への対応の仕方、事業の進行方法、事務取扱いなどの実習指導 【事後振り返り等】 ・実習後の振り返り指導			
		【コメント】 センターで行う実習に、大学側が何を求めているかを確認しておく必要がある。			
3	【事業区分】 B—い 【事業名】 青少年委員会 【個別事業名】 青少年委員会の運営	実施日時: 平成23年5月29日～ 平成24年3月31日	: ~ :	定員: 24人	参加者数: 24人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動を通じて様々な経験をしながら青年の社会参画を推進する。 ・センターの管理、運営に青少年の声を反映させる。 ・センターでの事業企画や運営に携わり、青少年の自主的な活動や交流を。 【事業内容】 【定例会の開催】 毎月1回第2日曜日 16時30分から(5/29・6/12・7/10・8/14・9/11・10/16・11/13・12/11・1/8・2/12・3/11) 【イベントの実施】 主なイベント (1)毎月1回第2日曜日(計12回)「ワイワイおやつタイム」参加者94人 (2)8月27日(土)「納涼!きもだめし大会」開催、参加者171人 (3)11月5日(土)～6日(日)「宿泊研修」実施、参加委員12人 (4)12月23日(金・祝)「かどもっちい～」開催、参加者223人 (5)3月24日(土)杉並区立児童青少年センター施設見学および中高校生運営委員会との交流会、参加委員7人			
		【コメント】 イベント数を減らし、青少年委員の役割の原点を再確認する必要がある。			

4	【事業区分】 B—い 【事業名】 青少年の居場所づくりフォーラム 【個別事業名】 「青少年の居場所づくり」全国フォーラム2012	実施日時: 平成24年2月18日(土)～19日(日) 14:00～翌14:00 定員 100人 参加者数: 117人
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・公開シンポジウムを開くことで、現代の青少年やそれを取り巻く環境についての情報提供をする場を設ける。 ・居場所づくりに関して全国各地からの参加者と共に話し合うことで、青少年を支える人材の育成を行なう。 ・当財団の居場所づくりへの取組みを全国的に発信する機会を設ける。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】・実行委員会(社会教育従事者や学生等の個人ボランティア15人により構成。月2回程度開催。 【当日】・公開シンポジウム テーマ:「子ども・若者の変化～“イマドキのつながり”に着目して～」 基調講演 テーマ:「激動の現代を生きる子ども・若者」 講師:児美川孝一郎氏(法政大学 キャリアデザイン学部長) パネルディスカッション パネリスト:嘉悦 登氏(NHK教育テレビ「青春リアル」担当プロデューサー) 永松 正則氏(横浜市立十日市場中学校教諭) ・交流会 ・分科会(第1～5分科会) <ul style="list-style-type: none"> 第1「我がまちにFitした子ども・若者支援」 第2「つながり～イマドキのリアル～」 第3「居場所を支える組織マネジメント」 ・全体会
		【コメント】 社会教育実習生や青少年委員経験者のボランティア参加を今後、促していく。

事業分野		C:青少年に体験機会や活動の場を提供する事業			
公益目的事業区分		う:体験活動等			
事業名 事業区分		事業実施内容			
1 ①	【事業区分】 C—う 【事業名】 青少年委員会企画事業(7事業) 【個別事業名】 青少年委員会「納涼!きもだめし大会」	実施日時: 平成23年8月27日(土) 18:00～20:00 定員: 150人 参加者数: 171人			
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・事業をととして交流センターの存在を周知する。 ・参加者が、年齢や学校を超えて交流できる機会を提供する。 ・参加者の夏休み最後の思い出づくりの場を提供する。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・当日ボランティアの募集 ・近隣小学校へのチラシ配布やセンター内にポスター掲示によるイベント開催の広報 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・1F参加者受付・ホラー映画の上映 当日のボランティア:46人 ・2F、4F、5F各部屋にてきもだめし 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・運営側である青少年委員とボランティアのふりかえり 			
		【コメント】 イベント事業数を削減し、スタッフがロビーワークに携わる時間を確保していく。			

1 ②	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年6月12日～ 平成24年3月11日	14:00～16:00	定員： 132人	参加者数： 104人
	【事業名】 青少年委員会「ワイワイおやつタイム」	【事業概要】 【事業目的】 ・年齢の近いお兄さんお姉さんと調理を通しての交流を図る。 ・参加者同士、学校や学年を超え、調理を通して交流を図る。 ・自ら調理したものを食べることで食への関心を高める。	【事業内容】 【事前】 ・青少年委員会定例会にてメニューと担当者の決定 【当日】 ・年11回実施 ・主なメニュー：ゼリー、かぼちゃきんつば、マカロン、杏仁豆腐、ドーナッツ、ケーキ、おしるこ、ガトーショコラ、お花寿司など ・グループごとに調理実習(レクリエーションゲームが入る回もある)		
	【個別事業名】 青少年委員会「ワイワイおやつタイム」	【コメント】 今後は、食育の観点からメニューを考えていくことも必要である。			
1 ③	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年7月16日(土)	13:00～16:00	定員： 80人	参加者数： 103人
	【事業名】 青少年委員会「ふりふら夏祭り」	【事業概要】 【事業目的】 ・年齢や学校を超えて交流のできる機会を提供する。 ・気軽に参加できる夏休みの思い出作りの場を提供する。	【事業内容】 【当日】 ・会場の設営 ・クラフト教室・ヨーヨーつり・ポップコーン販売・駄菓子販売・焼きそば販売・ストラックアウト 当日のボランティア：30人		
	【個別事業名】 青少年委員会「ふりふら夏祭り」	【コメント】 同時期に事業が重なり、ボランティアの活動が分散してしまうため、廃止する。			
1 ④	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年7月2日(土)	9:00～15:00	定員： 23人	参加者数： 21人
	【事業名】 青少年委員会「交流会」	【事業概要】 【事業目的】 ・第9期青少年委員会の今後の活動をより良いものにするため、委員同士の交流を図る。 ・交流会運営の担当委員は企画準備運営をとおしてリーダーシップを身につける。 ・コーディネーターと青少年委員の相互交流を図る。	【事業内容】 【当日】 ・会場の設営 ・調理(ハンバーグ・サラダ・パスタ・ガトーショコラ)、食事、レクリエーション、片付け		
	【個別事業名】 青少年委員会「交流会」	【コメント】			

1 ⑤	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年7月26日(火) 平成24年1月6日(金)	13:00～16:00	定員： 60人	参加者数： 32人
	【事業名】 青少年持込企画「カードゲーム大会」 【個別事業名】 青少年持込企画「カードゲーム大会」	【事業概要】 【事業目的】 ・小中学生に人気のあるカードゲームの大会を行うことで、参加者の交流を促す。 ・青少年に魅力的なイベントを実施することで交流センターの居場所機能の更なる充実を図る。 【事業内容】 【事前準備】 ・企画者との打ち合わせ(ルール、対象者、景品の購入等) 【当日】 ・参加者受付、トーナメント作成、進行、貴重品管理)	【コメント】 小・中学生のニーズを、青少年委員が汲み取って企画・運営した事業。		
1 ⑥	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年10月23日(日)	13:00～15:30	定員： 70人	参加者数： 52人
	【事業名】 青少年委員会「ふりふらハロウィン」 【個別事業名】 青少年委員会「ふりふらハロウィン」	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年委員とボランティアが協力して企画・運営する場を提供する。 ・青少年委員のリーダーとしての活動経験の機会を提供する。 ・夏期青年ボランティア経験者等への継続的な活動の場を提供する。 ・青少年委員以外のボランティアも企画段階から関わることで主体的な活動ができる場を提供する。 ・家庭の事情等により、季節のイベントに参加できない子どもたちが気軽に遊びに来ることのできる機会を提供する。 【事業内容】 【事前準備】 ・広報、企画運営ボランティア募集 ・青少年委員と公募ボランティアで企画会議 【当日】 ・イベント運営(フェイスペイント、マントのクラフト、仮面のクラフト、ストラックアウト、記念撮影コーナー、スタンプラリー) ・青少年委員、ボランティアスタッフで振り返り	【コメント】 24年度は西区施設と連携して実施する。		
1 ⑦	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年12月23日(金・祝)	10:00～15:00	定員： クラフト15人 門松15人・餅100人	参加者数： クラフト12人 門松14人・餅197人
	【事業名】 青少年の居場所での体験プログラム 【個別事業名】 青少年委員会「かどもっちい～」	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年委員、ボランティア、コーディネーター、参加者の世代間交流の場を提供する。 ・青少年委員、ボランティアの主体的な活動の場を提供する。 ・将来的に利用率を高めるための地域住民が気軽に参加できるイベントを提供する。 【事業内容】 【事前準備】 ・近隣の小学校へチラシの配布 【当日】 ・クリスマスクラフト(毛糸の星型オーナメント)(10:00～11:30) ・餅つきと試食(11:30～13:00) ・ミニ門松作り(13:00～14:30) ・<体制>青少年委員15人・当日ボランティア31	【コメント】 食品衛生上のリスク回避について検討していく。		

2	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年6月26日(日) 11月27日(日)	13:00～17:00	定員： 16団体	参加者数： 19団体
	【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年ボランティアに、年齢や地域を超えて多くの人と交流する場を提供する。 ・青少年ボランティアに、責任感や自主性及び協調性を育むための活動機会を提供する。 ・出演者・団体に青少年育成活動への理解を深めてもらえるよう、交流の場を提供する。	【事業内容】	【事前準備】 ・出演・団体と青少年ボランティアの募集	【当日】 ・個人・団体のパフォーマンスを中心としたステージ発表(ダンス・器楽・居合・合唱等) ・青少年ボランティアによる受付・照明・音響 ・参加者と青少年ボランティアとの交流会 参加ボランティア:22人 【事後振り返り等】・交流会での出演者・ボランティアの交流
	【個別事業名】 @楽祭2011	【コメント】	青少年ボランティアの事業への関わり方に、工夫が必要である。		
3	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年5月5日(木)	13:00～15:30	定員： 270人	参加者数： 329人
	【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年を対象に、年齢や地域を超えて多くの人と交流する場を提供する。 ・青少年を対象に、責任感や自主性及び協調性を育むための活動機会を提供する。	【事業内容】	【事前準備】 ・協力団体及び協賛団体への依頼、ボランティアの募集	【当日】 ・クラフト教室(カーネーションづくり、こいのぼりづくり、手作りスライム)・模擬店(だがし、ポップコーン、フランクフルト、カレーライス) ・お茶室 ・バルーンアート・スポーツ体験(スピードガン、ケトルカーリング、早押しマシン) 当日ボランティア:42人
	【個別事業名】 2011 こどもの日まつり	【コメント】	ボランティアが参画しているという実感を持てるようなコーディネートを行うべきである。		
4	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年8月18日(木)	14:00～18:00	定員： 10人	参加者数： 10人
	【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム	【事業概要】 【事業目的】 ・中学生及びボランティアをする青少年に、勉強を通じた居場所を提供する。 ・学校や年齢の異なる青少年同士の多世代交流の機会を提供する。 ・中高生のサポートを通じて、ボランティアにコミュニケーション能力を高める支援を行う。 ・体を使った活動を苦手とするボランティアに対し、新たな活動プログラムを提供する。	【事業内容】	【事前準備】 ・大学生及び社会人ボランティアの募集	【当日】 ・大学生及び社会人ボランティアによる、中高生の夏休みの宿題や勉強のサポート 当日ボランティア:5人
	【個別事業名】 中高生イベント「ふらっと勉強★大作戦」	【コメント】	外部に向けてのPR活動をすべきであった。		

5	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年6月19日(日)	14:00~15:30	定員: 60人	参加者数: 60人
	【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム	【事業概要】 【事業目的】 ・劇の鑑賞を通じて青少年の感受性を育てる。 ・鑑賞機会の少ない人形劇を上映することで、青少年に体験機会を提供する。	【事業内容】 【当日】 ・人形劇(3びきのこぶた、タヌキの兄弟) ・連携団体: 青少年指導者クラブ ・パネルシアターと手遊び	【コメント】 広報先を限定して、PR活動を行う。	
6	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月21日(日)	13:00~18:00	定員: 22団体	参加者数: 16団体
	【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム	【事業概要】 【事業目的】 ・学校、年齢の異なる青少年同士の交流の場を提供する。 ・事業への参画の機会を提供することにより、自主性や主体性及び協調性を育成する。 ・活動を通じて、出演者間のネットワークづくりを図る。 ・演奏活動の幅や可能性を広げる機会を提供することにより、活動を通じた居場所を支援する。	【事業内容】 【事前準備】 ・事前説明会(出演バンド)、リハーサル(前日) ・協力団体: MUSACI 【当日】 ・打合せ、リハーサル ・青少年によるライブ演奏、受付、照明・PA操作・記録撮影 ・交流会	【観覧者数】 8/21 78人 12/27 110人 3/20 104人	
		【コメント】 今後は、音作り講習会と合同実施を検討する方向で実施する。			
7	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年4月22日~	10:30~11:30	定員: 180人	参加者数: 170人
	【事業名】 ふらっと b kids	平成24年1月27日	【事業概要】 【事業目的】 ・子育て中のお母さんの支援(親子の交流)を図る ・音楽の楽しさを感じてもらう ・親子向け音楽活動を実施している団体を支援し、地域で力を発揮できるようサポートする。	【事業内容】 【当日】 「おもちゃのはこ」による音楽活動(全6回) ・(4月)歌や手遊び(手をたたきましょう、おはなしゆびさん、お花がわらった等)、クラフト(ちょうちょう) ・(6月)歌や手遊び(かえるのうた、かたつむり、あまふりくまのこ等)、親子活動(新聞紙の雨) ・(7月)歌や手遊び(いるかはざんぶらこ、おさかなぱっくん、ヘンゼルとグレーテル等)、クラフト(かざぐるま) ・(10月)歌や手遊び(お化けなんていないさ、おもちゃのチャチャチャ等)、クラフト(かぼちゃ) ・(11月)歌や手遊び(やきいもぐーちーぱー、くつつきむし等)、クラフト(毛虫の洋服をつくる) ・(1月)歌や手遊び(ゆき、どんな色がすき等)、クラフト(雪だるまのカード)	
		【コメント】 子育て世代の利用者増を目指し、24年度は共催事業とする。			

8	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年5月27日～ 平成24年2月24日	10:30～11:30	定員： 120人	参加者数： 113人
	【事業名】 ふらっとkids コンサート	【事業概要】 【事業目的】 ・子育て中のお母さんの支援(親子の交流)する。 ・音楽の楽しさを感じてもらう。 ・親子向け音楽活動を実施している団体を支援し、地域で力を発揮できるようサポートする。	【事業内容】 【当日】 ・「おもちゃのはこ」によるクラシックの名曲を中心としたミニコンサート。(全4回) (5月)はなのおぐにの汽車ぼっぽ、モーツァルトのソナタハ長調、エリーゼのために、おもちゃのチャチャチャ等 (9月)ねこふんじゃった、ハッピーバースデー変奏曲、ヘンゼルとグレーテル(お話とピアノ)、ハンガリー舞曲第5番等 (12月)ホワイトクリスマス、そりすべり、サンタが街にやってくる、あわてんぼうのサンタクロース、主よ人の望みの喜びよ等 (2月)雪、スラブ舞曲、ハンガリー舞曲 第5番、剣の舞、ワン、踊り明かそう、天国と地獄等		
	【個別事業名】 ふらっとkids コンサート	【コメント】			
9	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成24年4月10日～ 平成24年3月11日	13:00～15:00	定員： 150人	参加者数： 82人
	【事業名】 クラフト教室	【事業概要】 【事業目的】 ・クラフトの楽しさ(自分の手で作る楽しさ)を伝える。 ・指導者に子どもと関わりの場を提供することで、指導技術の向上を図る。	【事業内容】 【当日】 ・4月:UFOづくり、6月:七夕飾り、7月:コップのロケット、9月:船頭さんのいる船 10月:糸マキマキ、11月:カラクリカード(クリスマスバージョン)、12月:門松 1月:絵合わせ、2月:つるし雛、3月:コップのけん玉 ・指導協力:青少年指導者クラブ ・当日ボランティア:のべ42人		
	【個別事業名】 クラフト教室	【コメント】 参加人数が減少しており、メニューが青少年のニーズから離れてきているため、廃止する。			
10	【事業区分】 C—う	実施日時： 平成23年7月27日～ 8月25日	: ~ :	定員： 134人	参加者数： 90人
	【事業名】 夏休みイベント【全体評価】	【事業概要】 【事業目的】 ・青少年に様々な体験活動を提供し、青少年の成長を促す。 ・多世代交流を促す。 ・ボランティアに活動の機会を提供し、様々な気づきを促す。	【事業内容】 ・読み聞かせ(7月27日) ・ゲルマニウムラジオづくり(7月28日) ・木工教室(8月3日) ・うどんづくり(8月4日) ・風鈴づくり(8月6日) ・卓球大会(8月9日) ・野菜でピザをつくらう(8月11日) ・ドッジボール大会(8月25日)		
	【個別事業名】 夏休みイベント【全体評価】	【コメント】 ロビーワークの時間を確保するため、イベント数の削減・見直しを図る必要がある。			

10 ①	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月4日(木)	10:00~13:00	定員: 12人	参加者数: 12人
	【事業名】 うどんづくり	【事業概要】 【事業目的】 ・食への理解・関心を深める。 ・みんなで活動する楽しさや、完成した達成感を味わうことで成長を促す。 ・学校や学年を超えた交流や、多世代交流の場を促進する。	【事業内容】 【当日】 ・会場設営 ・うどんづくり(参加費徴収、参加者の料理実習、試食会運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 7人		
【個別事業名】 うどんづくり		【コメント】			
10 ②	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年7月28日(木)	14:00~16:00	定員: 10人	参加者数: 9人
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】 ・ものづくりへの興味・関心を促す。 ・完成した達成感を味わう。 ・学校や学年を超えた仲間づくりの機会や、多世代交流を促す。	【事業内容】 【当日】 ・ゲルマニウムラジオづくり(参加費徴収、教室の運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 5人		
【個別事業名】 ゲルマニウムラジオ作り		【コメント】			
10 ③	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月9日(火)	13:30~16:30	定員: 30人	参加者数: 6人
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】 ・学校や学年をこえた仲間づくりの機会や、多世代交流の場を提供する。 ・ボランティアや実習生は、子どもたちのサポートやイベントの運営を通して、社会性を養う。	【事業内容】 【当日】 ・協力: わかば卓球クラブ ・会場設営 ・卓球大会(大会の運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 9人		
【個別事業名】 卓球大会		【コメント】			

10 ④	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月25日(木)	13:30~16:30	定員: 30人	参加者数: 30人	
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学年をこえた仲間づくりの機会や、ボランティアや実習生、大人との多世代交流の場の提供する。 ・ボランティアや実習生は、子どもたちのサポートやイベントの運営を通して、社会性を養う。 			
	【個別事業名】 ドッジボール大会	【事業内容】	【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営 ・ドッジボール大会(大会の運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 10人 			
		【コメント】				
10 ⑤	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月6日(土)	14:00~16:00	定員: 10人	参加者数: 7人	
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・普段体験できないようなことに取り組むことで、参加者の興味・関心を広げる。 ・学校や学年を超えた仲間づくりの機会を提供することで、ボランティアや実習生、大人との多世代交流を促す。 ・身近な素材で物を作り、季節を感じてもらう。 			
	【個別事業名】 風鈴づくり	【事業内容】	【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営 ・風鈴づくり(参加費徴収、大会の運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 6人 			
		【コメント】				
10 ⑥	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月3日(水)	10:00~16:00	定員: 10人	参加者数: 4人	
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりへの興味・関心を促す。 ・同一規格の物を落ち着いて作ることで、ひとつのことをやり遂げる喜びや達成感を味わう。 ・学校や学年をこえた仲間づくりの機会や、多世代交流を促す。 			
	【個別事業名】 木工教室	【事業内容】	【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営 ・プランターボックスづくり(参加費徴収、教室の運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 3人 			
		【コメント】				

10 ⑦	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年8月11日(木)	10:00～13:00	定員: 12人	参加者数: 9人
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】 ・食への理解・関心を深める。 ・みんなで活動する楽しさや、完成した達成感を味わう。 ・学校や学年を超えた交流や、多世代交流を促す。	【事業内容】 【当日】 ・ピザ作り(参加費徴収、参加者の料理実習、試食会運営、片付け) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 6人		
	【個別事業名】 野菜でピザを作ろう	【コメント】			
10 ⑧	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年7月27日(水)	13:00～13:30	定員: 20人	参加者数: 13人
	【事業名】 夏休みイベント	【事業概要】 【事業目的】 ・本の楽しさを感じてもらうことで、読書への関心をもたせる。 ・学校や学年をこえた仲間づくりの機会や、多世代交流を促す。	【事業内容】 【当日】 ・会場設営 ・読み聞かせ(「ピロードのうさぎ」) ・指導: 交流センターコーディネーター ・当日ボランティア: 1人		
	【個別事業名】 読み聞かせ	【コメント】			
11	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成24年1月7日(土)	15:00～17:00	定員: 10人	参加者数: 8人
	【事業名】 ふらっとカフェ	【事業概要】 【事業目的】 ・参加者(青少年)同士の交流を図る。 ・ロビーワークとして、参加者(青少年)の課題やニーズを把握するきっかけをつくる。 ・編み物と会話を通じ、ストレス解消やリラクゼーション効果を高める。	【事業内容】 【当日】 ・ニットカフェ ・コーディネーター指導のもと編み物をしながら、コーディネーターと参加者、参加者同士で会話を楽しむ。 ・指導: 交流センターコーディネーター		
	【個別事業名】 ニットカフェ	【コメント】 コーディネーターとつながるきっかけ事業のため、24年度はロビーワークの延長として実施する。			

12	【事業区分】 C—う 【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム 【個別事業名】 ワールドカフェ「居場所づくり よりどころとは？」	実施日時: 平成24年1月28日(土)	13:00～18:00	定員: 25人	参加者数: 12人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年が自身の居場所を見つめ直す機会を提供する。 ・青少年団体による企画運営事業への支援と協働を図る。 【事業内容】 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「ワールドカフェ」 ワールド・カフェは、カフェのようになりリラックスした雰囲気の中、4～5人単位の小グループで話し合うワークショップです。途中でグループのメンバーの組み合わせを変えながら、話し合いを続けていく。 ・テーマ「居場所づくり よりどころとは？」 ・交流会 ・協働団体:集いのCAFE 【コメント】				
13	【事業区分】 C—う 【事業名】 青少年の居場所での活動プログラム 【個別事業名】 音作り講習会	実施日時: 平成23年12月10日(土)	12:00～19:00	定員: 18人	参加者数: 16人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器練習及び指導を通じた、青少年同士の異年齢交流の場を提供する。 ・プロのミュージシャンによる企画運営事業への支援を行う。 ・楽器の演奏方法等スタジオの使用方法を学ぶことで、演奏技術の向上やスタジオ利用のマナーの理解を図る。 【事業内容】 団体からの売り込み事業 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・連携団体へ事業のプランニングについてのコーディネート 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・ドラム、ギター、ベースの基礎練習の仕方、機材の使い方の指導 ・指導:MUSACI 【コメント】 今後は、ふらっとライブと合同実施を検討する方向で実施する。				

平成 23 年度事業報告書

施設名・課名： 横浜市野島青少年研修センター

事業分野		A: 青少年活動を支援する事業																		
公益目的事業区分		あ: 施設の貸与																		
事業名 事業区分		事業実施内容																		
1	【事業区分】 A—あ 【事業名】 施設・設備貸出事業 【個別事業名】 施設・設備貸出事業	実施日時: 平成23年8月8日～3月31日 : ~ :	目標: 560団体	利用団体: 273団体																
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体等が主体性、自律性をもって円滑に活動できるように、宿泊室及び研修室の貸出を行う。 ・利用団体の研修支援として研修に必要な備品の貸出しを行う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><参考資料> 平成22年度利用実績(団体数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>協約</td> <td>560件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>562件</td> <td>27,434人</td> <td>達成率:100.3%</td> </tr> <tr> <td>宿泊</td> <td>400件</td> <td>20,065人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>162件</td> <td>7,369人</td> <td></td> </tr> </table> </div>		協約	560件			実績	562件	27,434人	達成率:100.3%	宿泊	400件	20,065人		日帰り	162件	7,369人	
		協約			560件															
実績	562件	27,434人	達成率:100.3%																	
宿泊	400件	20,065人																		
日帰り	162件	7,369人																		
【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・事前電話受付等(利用日の2週間前まで) ・利用抽選会の開催(11回)8月分～2月分 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・シーツの貸出、備品の貸出 ・宿泊室、研修室、浴室、厨房の準備 ・日帰り利用(研修室、和室、厨房の貸出) 																				
【コメント】 避難所・休館の影響で稼働率が低下した。																				
2	【事業区分】 A—あ 【事業名】 利用相談業務 【個別事業名】 利用相談業務(体験学習実施校事前打ち合わせ含)	実施日時: 平成23年8月8日～3月31日 : ~ :	申込: 293団体	参加者数: 238団体																
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が円滑に研修できるように相談・助言を行う。 ・プログラムの提案・構成を補助することで、効果的な研修を実現する。 ・体験学習で施設を利用する学校に対して事前に大人数で取り組めるプログラムの提案や安全性向上の為の説明を行う。 																		
		【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> 【事前準備】部屋割り、打合せ表の準備 【当日】参加者にセンターの使い方の案内(利用時間・飲酒についての説明・プログラムの確認・ワークショップなどの提案、備品の貸出案内、提出書類の説明) ・宿泊当日の代表者会議(当日のプログラム確認・使用物品の確認・消灯時間の確認・清掃箇所・方法の案内・利用報告書・アンケートの説明) 打合せ団体: 宿泊団体(学校/一般)・日帰り団体(学校/一般) 																		
【コメント】 受入れ下限人数や入館時間など柔軟な運営を心がけている。																				

3	【事業区分】 A—あ 【事業名】 インターネットによる情報提供 【個別事業名】 インターネットによる情報提供	実施日時: 平成23年4月1日～3月31日 【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用客の獲得を図る。 ・リピート利用の促進を図る。 ・体験活動への動機づけを図る。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・空室状況随時更新。 ・事業実施二ヶ月前ホームページに案内掲載。 ・抽選会三週間前に、申し込み方法等の実施案内掲載。 ・抽選会当日、17:00までに空室状況更新。 ・事業実施後、担当所感・写真掲載を含む活動レポート掲載。(オールクリーン、キッズキャンプ等) 	: ~ :	定員: 件	参加者数: 3060件
	【コメント】				
4	【事業区分】 A—あ 【事業名】 東日本大震災発生に伴う被災者の受け入れ 【個別事業名】 東日本大震災発生に伴う被災者の受け入れ	実施日時: 平成23年4月6日～7月31日 【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の被災者に対して、より生活しやすい環境を提供する。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・4～12月に利用予定の学校と団体に市による要請による利用中止連絡(のべ134団体、方法:電話連絡、書類送付)、関係団体への通知 ・避難所開設の準備(副市長、市職員による下見対応、利用手引の作成、洗濯機とTV、PCの設置) 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者受け入れ(19人、10部屋提供) ・被災者対応(施設管理、利用の説明や相談、周辺地域などの情報提供、懇談会の実施) ・窓口対応(市および関係機関などの対応・調整、提供情報の周知、ボランティアの申し出・寄付物品の取次) 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・8月以降利用受付、抽選会などの日程の再設定と利用再開の通知(のべ369団体) 	: ~ :	定員: 人	参加者数: のべ 797人 /98日
	【コメント】				
5	【事業区分】 A—あ 【事業名】 研修センター施設利用促進 【個別事業名】 施設利用促進(施設紹介チラシの作成・配布)	実施日時: 平成23年10月～3月 【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・研修センター利用再開の周知徹底を図る。 ・新たな利用団体の獲得をめざす。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市子ども会連絡協議会と配布先について検討 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布 (A3/両面カラー/二つ折り/1000部) ・配布先 横浜市子ども会連絡協議会 ・配布件数 1件 	: ~ :	定員: 人	参加者数: 人
	【コメント】	競合施設に対抗するため、施設周辺のプログラムコンテンツの充実を図る。			

事業分野		B: 青少年を支える人材を育成する事業						
公益目的事業区分		い: 講座、セミナー、育成						
事業名 事業区分		事業実施内容						
1	【事業区分】 B—い 【事業名】 スキルアップ研修 【個別事業名】 スキルアップ研修(青少年リーダー研修) 全2回	実施日時	①平成23年10月22日～23日(土・日) ②平成24年2月25日～26日(土・日)	14:00～翌15:00	定員	①40 ②60 人	参加者数	①31 ②63 人
		【事業概要】	【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・各々の地域でリーダー活動を行っている青少年を対象に、レクリエーション導入方法の研修を行なうことでリーダーとしての役割や意識、技術の向上を図る。 ・青少年リーダーのネットワークづくりのきっかけとする。 					
		【事業内容】	【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会組織についての研修(歴史、活動内容の研修 他) ・アイスブレイキングの体験・実施練習 ・横浜市の青少年団体についての研修 ・講師:①子ども会シニアリーダー ②宇田川光雄(UDA教育ゲーム研究所) 					
		【コメント】	平成24年度からは事業課が所管する。					

事業分野		C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業						
公益目的事業区分		う: 体験活動等						
事業名 事業区分		事業実施内容						
1	【事業区分】 C—う 【事業名】 バードウォッチング in 野島 【個別事業名】 バードウォッチング in 野島	実施日時:	平成24年2月4日～5日(土・日)	1泊2日	定員:	60人	参加者数:	19人
		【事業概要】	【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・閑散期プログラムとして、小中学生を対象に野島公園やその周辺での野鳥観察を通じ、参加者が自然や環境について興味・関心を抱くきっかけを提供する。 ・地域で環境教育に取り組む市民の活動を支援する。 ・研修センター利用者への体験プログラムの一つとしての事業展開を検討する。(利用促進) 					
		【事業内容】	【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・野島や長浜公園での野鳥観察(カモ類、鶺鴒、鴨など水鳥をみつけた) ・ネイチャーゲーム(公園内での宝物さがし) ・渡り鳥ゲーム(渡り鳥の性質などを体感・理解する) ・指導・講師:野島自然観察探見隊、横浜金沢シティガイド協会 ・連携団体:バードウォッチングin野島実行委員会 					
		【コメント】						

2	【事業区分】 C—う 【事業名】 野島カヌー体験教室 【個別事業名】 野島カヌー体験教室	実施日時: 平成23年8月～11月 9:00 ～ 12:00 定員: 114人 参加者数: 114人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・野島の自然環境を活かした、研修センター特有の活動としてセンター利用者への提供を検討する。(利用促進) ・指導員の指導で、正しい技術を身につけ安全にカヌー体験をしてもらう。 ・自然への関心を持ってもらう。 【事業内容】 【事前準備】 ※今期カヌーキャンプは一時避難所を開設したため中止。 ・今年度実施日程:8月～11月毎週土曜全12回、8～9月6回、10～11月6回 ・参加者募集は金沢スポーツクラブが行なう。 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー操作技術の指導 講師:尾喜 純一(金沢スポーツクラブ/日本カヌー連盟公認指導者シニア) ・対象:小学生以上 ・会場:野島水路 	
3	【事業区分】 C—う 【事業名】 野島ワークショップ クラフト 【個別事業名】 野島ワークショップ クラフト	実施日時: 平成23年8月～3月 : ～ : 定員: 361人 参加者数: 361人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの空き時間や雨天時に、もの作りの体験をしてもらう。 ・もの作りの楽しさを体験してもらう。 ・協力して時間内に完成させる、チームワークの意識を育てる。 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時対策として、安価(1個100円)で手頃な時間でできる工作、①玉子型の発泡スチロールでつくるキャラクター「のじたまくん」 ②まつぼっくりでつくる鳥型キャラクター「のじぼっくり」 ③木とネジで鳥の鳴き声を出す「バードコール」の三種類を提供。 ・職員が、作り方の指導を行なう。完成まで立ち会う。 ・所要時間、45分～1時間 	
4	【事業区分】 C—う 【事業名】 第16回野島クリスマスキャンプ 2011 【個別事業名】 第16回野島クリスマスキャンプ 2011	実施日時: 平成23年12月3日～4日(土・日) 1泊2日 定員: 25組 参加者数: 23組50人
	【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・参加児童・生徒(個別支援学級の児童・生徒)に集団生活体験の場を提供し、その成長を図る。 ・児童・生徒同士、保護者同士の交流を図る。 ・ボランティア活動の場を提供し、ボランティアの育成および活動の発展促進を図る。 【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を設け、プログラムの企画検討を行う。(連携団体:野島クリスマスキャンプ実行委員会) 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験 ・クリスマスディナー(ボランティアによる食事提供)、クリスマスコンサート(有志による弦楽演奏、参加者も加わった合奏や合唱など)、親子活動(雪の結晶を模したオーナメント作り) ・参加者はグループに分かれて活動、各グループにはリーダーやボランティアが付き添う。 	

5	【事業区分】 C—う	実施日時: ①平成23年9月20日(火) ②平成23年10月7日～8日(金・土)	(宿泊)17:00～ 翌日 14:00	定員:	参加者数: 71人
	【事業名】 キッズキャンプ	【事業概要】 【事業目的】 ・集団生活を行うことで、協調性や社会性を身につける。 ・キャンプを通して自然に触れる機会を提供する。 【事業内容】 9/20:本町小学校放課後キッズクラブ 10/7～8:秋葉小学校放課後キッズクラブ ※当法人が運営する放課後キッズクラブ 【事前準備:9/20,10/7～8共通】 ・キッズとの打ち合わせ。・食材の準備。 ・プログラムの検討・準備。 【当日:9/20】 ・カレー作り、磯遊び、清掃 【当日:10/7～8】 ・入・退所式。・食事の準備、調理、片付け。・清掃。・ナイトウォーク、花火、クラフト(のじたまくん作り)。 【事後振り返り等:9/20、10/7～8共通】			
	【個別事業名】 キッズキャンプ(2回)	【コメント】 次年度以降の実施については、施設ボランティアの養成状況をみて判断する。			
6	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年9月20日～3月31日までに17回		定員:	参加者数: 886人
	【事業名】 野島ワークショップ 野島カレー	【事業概要】 【事業目的】 ・職員と利用者との関係作りを図る。 ・利用者の食材準備負担の軽減を図る。 ・食に対する興味を持たせるような調理を行い、児童の好奇心を刺激すると共に、多くの人と一緒に調理活動を行うことで協調性を身につける。 【事業内容】 【事前準備】 ・食材発注 【当日】 ・食材準備。 ・作り方指導。(センター職員が指導)			
	【個別事業名】 野島ワークショップ 野島カレー	【コメント】			
7	【事業区分】 C—う	実施日時: 平成23年9月～平成24年3月	: ~ :	定員: 30人	参加者数: のべ27人
	【事業名】 ボランティア育成研修	【事業概要】 【事業目的】 ・ボランティアを導入することで、センター事業の充実を図る。 ・ボランティアスタッフ独自の活動を実現する。 ・ボランティア活動の場の提供を行なうとともに、利用団体の活動を側面的に支援することで効率的なプログラム実施を図る。 【事業内容】 【事前準備】 ・面接、体験活動の実施。(センターで、どんなボランティアがしたいかなど、ニーズの聞き取り)。 【当日】 ・センター主催事業の運営補助。 ・利用者の活動補助。 ・施設維持管理補助。	【平成23年度実施回数】 研修:16回 キャンプ(宿泊研修):1回		
	【個別事業名】 ボランティア育成研修	【コメント】			

8	【事業区分】 C—う 【事業名】 ハートフルスペース宿泊体験 【個別事業名】 ハートフルスペース宿泊体験	実施日時: 平成23年12月1日(木)~2日(金)	10:00~翌 11:00	定員: 日帰り活動のみ:50人 日帰り活動と宿泊:80人	参加者数: 日帰り:114人 宿泊:65人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会の適応指導教室(ハートフルスペース)に通室している児童生徒が、体験活動(宿泊)を通して社会への興味関心を広げる。 ・多くの人と触れ合う事で、コミュニケーションの向上をはかる。 ・活動を行えた事で自信を持たせ、自己を見つめる機会を提供する。 				
		【事業内容】 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・打合せ。・適応指導教室の児童生徒の体験活動プログラム検討。 ・ボランティア募集。 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム進行。・生活指導サポート。・安全管理。 【事後振り返り等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルとの振り返り。 				
【コメント】 本事業については教育委員会と連携し、具体的な効果測定数値(不登校改善児数など)を検討すること。						
11	【事業区分】 C—う 【事業名】 環境教育プログラムの実施 【個別事業名】 オールクリーン野島ビーチ 2011	実施日時: 平成23年9月10日(土)、11月12日(土)	: ~ :	定員: なし	参加者数: 112人	
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験・環境教育活動を通じて、青少年の豊かな心を育む。 ・身近な自然である野島海岸を知ること、参加者が自然や環境について興味・関心を抱ききっかけを提供する。 ・横浜市唯一残る自然海岸「野島海岸」を守る市民の保全活動を支援する。 				
		【事業内容】 【当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃 (ゴミ拾い、ゴミの分別・集計) ・海の生きもの観察 (実行委員が事前採集) ・回収したゴミは、市農地保全課、資源循環局の協力を得て処分。 				
【コメント】						

12	【事業区分】 C—う 【事業名】 新規体験プログラムの開発 【個別事業名】 新規体験プログラムの開発	実施日時: 随時 定員: なし 参加者数:
		【事業概要】 【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・既存のプログラムの評価・検証・改善を行い、体験プログラムの向上・充実を目指す ・自然環境や社会的資源など、研修センターの特色を活かした体験プログラムの開発を目指す ・活動を通じて青少年が自ら学び育つことができる体験プログラムの開発を目指す 【事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・既存プログラムの評価・検証・改善 ・新規プログラム(野島フォトラリー、プラネタリウム)の開発・検討 ・施設周辺地域の調査 ・研修や講座に参加し、知識や手法・技術を習得
		【コメント】 全天候型施設としての長所を活用したプログラムを提供することで、利用者に対する支援を充実していく。

平成 23 年度事業報告書

施設名・課名:

総務課

事業分野		D:その他法人目的達成のための事業				
公益目的事業区分		か:該当なし				
事業名 事業区分		事業実施内容				
1	【事業区分】 D-I	実施日時:	23年4月1日～	24年3月31日	定員: 800人	参加者数: 414人
	【事業名】 寄附金募集事業	【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"> ・財団が取り組む青少年育成の大切さや重要性を広く市民に周知する。 ・青少年育成活動への協力者を拡充する。 ・法人維持のための財源確保 			
	【個別事業名】 寄附金継続協力者の拡充、募金箱の設置	【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・旧会員(賛助会員)約700人に対する、「継続寄附者」としての継続依頼 ・「ボランティア育成基金」から「一般寄附金・特別寄附」に変更になったことの再通知と寄附依頼 ・寄附金募集リーフレットの作成 ・財団ホームページに寄附金コンテンツの作成。(寄附金事業や財団の取り組みの紹介) ・募金箱の作成および周知 			
		【コメント】				

事業分野		D:その他法人目的達成のための事業				
公益目的事業区分		か:該当なし				
事業名 事業区分		事業実施内容				
1	【事業区分】 D-I	実施日時:	24年1月30日	18:30 ~ 20:30	定員: 100人	参加者数: 94人
	【事業名】 新春のつどい	【事業概要】	<ul style="list-style-type: none"> ・永年、当法人に対し協力・支援していただいている団体及び個人への感謝の場とする。 ・過去1年間の事業報告を行い、さらなる協力を依頼する。 ・寄附者相互の親睦を図り、情報交換の場とする。 			
	【個別事業名】 平成24年 新春のつどい	【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> 【当日】 ・永年寄附者に対する感謝状の贈呈を行う。 ・1年間の事業をプロジェクター投影により可視的に行う。交流センター利用者のパフォーマンスを披露する。 ・立食式パーティーで賀詞交換、寄附者相互の親睦を図る。 【事後振り返り等】 ・HP上にて新春のつどいの実施状況を報告し、寄附者に感謝の意を表しさらなる協力をアピールする。 			
		【コメント】				